

## 人工光合成研究センター開所5周年 記念講演会を実施

2018年6月12日（火）に、大阪市立大学学術情報総合センターにおいて、人工光合成研究センター開所5周年記念講演会が大阪市立大学人工光合成研究拠点の共催のもと開催されました。最初に、櫻木弘之副学長による開会挨拶があり、本センター設立の趣旨や人工光合成研究が本学を特徴つける重要研究課題の一つであることを説明されました。



櫻木弘之副学長

特別講演では、大阪大学名誉教授・名城大学特任教授・梨花女子大学校特別教授 福住俊一先生が「人工光合成による液体太陽燃料の製造と利用」と題し、ご講演くださいました。福住先生は、太陽光を利用して海水と空気中の酸素から効率的に過酸化水素を太陽燃料として製造することに世界で初めて成功されました。過酸化水素は気体である水素に比べて貯蔵・運搬が容易であり、新たなエネルギー媒体として極めて有望であることが分かりました。



福住俊一先生

つづいて、本学複合先端研究機構教授 神谷信夫先生から「光合成から人工光合成へ」と題し、ご講演頂きました。神谷先生は平成25年の本センター開所から2年間所長を務められた方でもあります。神谷先生は光合成タンパク質の結晶の質を従来と比べて飛躍的に向上させることに成功され、詳細なX線構造解析をされました。酸素発生サイトであるマンガンクラスターが $Mn_4CaO_5$ の組成をもち、全体として歪んだ椅子の形をしていることや、ひとつのMnとCaにそれぞれ2個の水分子が結合していることを解明されました。



神谷信夫先生

最後に天尾豊人工光合成研究センター所長から5年間の活動報告がありました。センター運営のために大変ご尽力頂いていることが分かりました。講演会には、会場が埋まるほど多数の参加があり、盛会となりました。



天尾豊先生

人工光合成研究拠点 ニュースレター  
第3巻・第3号平成30年6月14日発行  
発行責任者：天尾 豊（大阪市立大学人工光合成研究センター所長）  
編集責任者：吉田朋子（同副所長）  
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>